

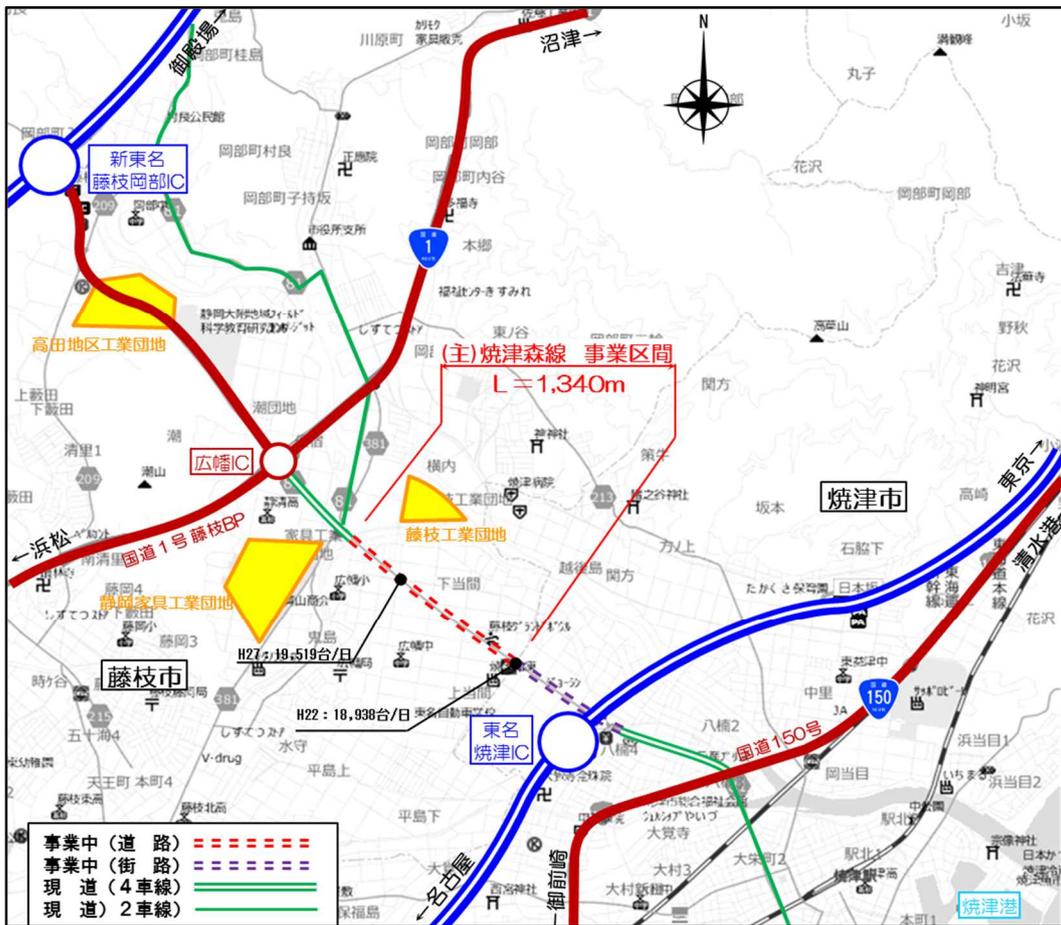
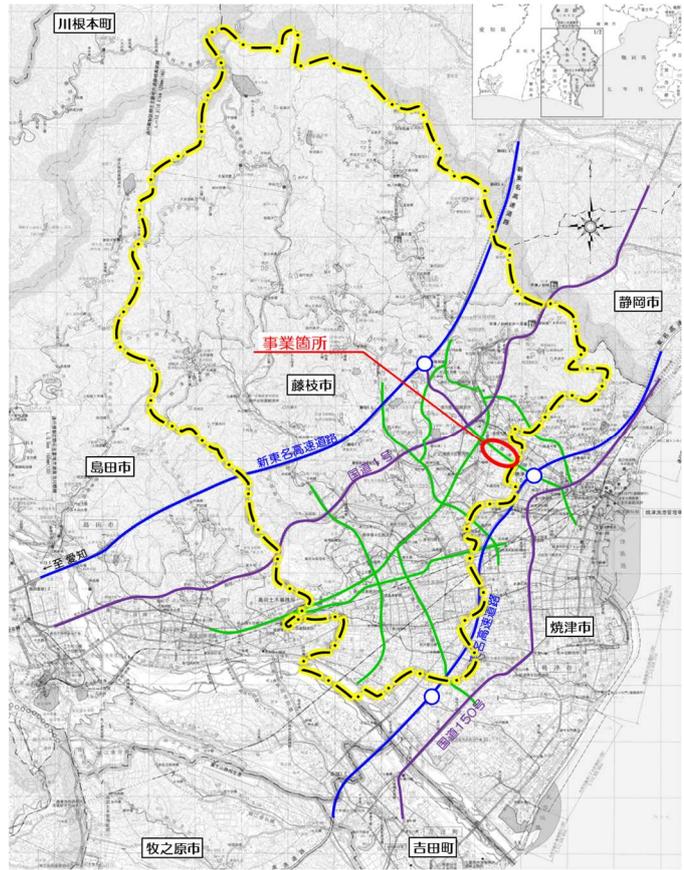
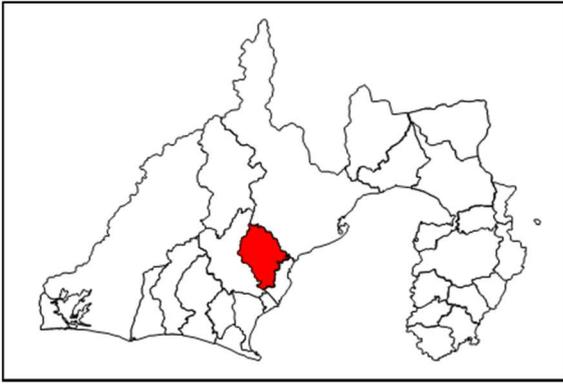
## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課： 環境安全・防災課

担当課長名： 野田 勝

事業名	重要物流道路（基幹道路） 主要地方道 焼津森線	事業区分	地方道	事業主体	静岡県	
起終点	自： <small>しずおか ふじえだ しもとうま</small> 静岡県藤枝市下当間 至： <small>しずおか ふじえだ しもとうま</small> 静岡県藤枝市市下当間			延長	1. 3 km	
<b>事業概要</b>						
<p>主要地方道焼津森線は、焼津中心部から国道150号、東名高速焼津IC、国道1号藤枝バイパス、新東名藤枝岡部ICを連絡する幹線道路であり、第1次緊急輸送路にも指定されていることから、生活・産業・防災面において重要な役割を果たしている路線である。</p> <p>本事業は、当該箇所を4車線化にすることにより広域交通ネットワークの強化、朝夕の渋滞解消、安全で円滑な交通を確保及び緊急輸送路としての機能の確保を図る。</p>						
H21年度事業化	S47年度都市計画決定	H21年度用地着手		H21年度工事着手		
全体事業費	34億円	事業進捗率	約88%	供用済延長	0.73 km	
計画交通量	32,900台/日（4車線、H42）					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	（残事業/事業全体）	総便益	（残事業/事業全体）	基準年 平成30年
	（事業全体） 3.3 （残事業） 9.6	5.6/40億円 （事業費：4.9/39億円 維持管理費：0.64/0.64億円）		64/129億円 （走行時間短縮便益：55/121億円 走行経費減少便益：2.8/6.5億円 交通事故減少便益：-4.3/2.0億円）		
<b>感度分析の結果</b>						
<p>（全体事業） 交通量：B/C=2.9~3.6（交通量 ±10%） 事業費：B/C=3.3~3.3（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=3.1~3.3（事業期間±10%）</p> <p>（残事業） 交通量：B/C=8.7~11（交通量 ±10%） 事業費：B/C=9.2~10（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=8.5~9.6（事業期間±10%）</p>						
<b>事業の効果等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道150号、東名高速道路、国道1号バイパス、新東名高速道路を連絡する幹線道路の機能強化</li> <li>・ 地域産業の活性化</li> <li>・ 混雑緩和および安全で円滑な交通の確保</li> </ul>						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質の高い交通ネットワークの形成及び地域連携強化に必要な事業</li> <li>・ 沿道利用の促進など地域経済活性化が期待される</li> </ul>						
<b>事業評価監視委員会の意見</b>						
事業を継続するのが相当である。						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年、新東名高速道路 御殿場JCT以西が開通</li> <li>・ 平成28年度、国が国道1号藤枝バイパスの4車線化事業に着手</li> </ul>						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>						
用地取得率約99%、事業進捗率約88%						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>						
残る用地（1件）の取得を継続しており、引き続き、早期完成に向けて事業を進めていく。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b>						
・ 整備完了箇所から順次部分供用することで、事業効果の早期発現を図っている						
対応方針	事業を継続する					
<b>対応方針決定の理由</b>						
事業は順調に進捗しており、事業効果も十分認められるため						

# 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。